



大磯町長

中崎 久雄

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さんにおかれましては、それぞれの希望と決意を胸に新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、長い自粛期間など異例の一年間となり、「いつもと違う」という事の難しさ、「いつも通り」という事のありがたみを実感した年となりました。そのような中、町としましては皆さんの安全・安心を考え、中郡医師会及び大磯町を愛してくださる医療関係者の方々にもご協力いただきながら、新型コロナウイルス感染症の対策を実施いたしました。集団PCR検査場設置、神奈川モデルに沿った感染拡大防止策などを実践するとともに、新型コロナウイルスの集団接種においては、皆さんの協力により大きな混乱もなく無事に行うことができました。皆さんの冷静な行動に感謝申し上げます。

さて、昨年を思い返しますと、このような異例の事態でも第五次総合計画の初年度として、まちの将来像の実現に向けて新たなステージへと踏み出すとともに、誰もが安全で安心に生き生きと暮らせる町をめざし町政運営に努めてまいりました。今年も、町長として3期目の最終年に

なります。皆さんとの信頼とつながりによって創り上げてきた「志」を、次世代に引き継いでいくため、これまで積み重ねてきた取組みを礎とし、より発展させてまいります。「大磯に住みたい、住み働きたい、いつまでも住み続けたい」と思えるよう、町民の皆さんとともに歩みを進めてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症は一時期と比べ、新規感染者数は減少傾向にありますが、未だ先行きを見通すことが難しい状況にあります。町としましては、3回目となる新型コロナウイルス接種についても準備を進めてまいります。皆さんの予約や接種がスムーズに行えるよう運営体制を整備してまいります。

皆さんが新たな生活様式のもと、自分らしい暮らしを送ることができるようなまちづくりを進めていくとともに、安全・安心なまちをめざし、引き続き感染症拡大防止に向けて全力を投じていく所存です。

結びに、今年一年が皆さんにとりまして、健康で幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



大磯町議会議員

竹内 恵美子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆さんにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、日頃より大磯町議会に、深いご理解と温かいご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

一昨年来、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、我が国においても全国的な感染の広がりにより、緊急事態宣言が発出されました。感染拡大防止の観点から、外出自粛等により、日常生活に大変な支障をきたしております。また、経済が停滞し、収入の減少などによる生活困窮者も増えたようにお聞きしています。

昨年10月に入り、ようやく緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ安心できる状況ではありません。新型コロナウイルス感染症が一刻も早く終息することが望まれます。

さて、議会では、令和2年4月16日に「大磯町議会・新型コロナウイルス感染症対策行動指針」を策定し、感染拡大の抑止や議会運営が停滞しないよう諸会議の効率的な運営に努め、一般質問、各常任委員会等においても感染防止対策を十分にいたうえて通常通り実施してきました。また、この機会をチャンスと捉え、議

会のICT化の推進を図るため、新たな試みを検討する研修会を積極的に行いました。

さらに、議会の説明責任を果たすとともに、町民の皆さんのご意見を直接聞きする場として実施している議会報告会には、多くの方に参加いただくため、開催方法や運営方法の見直しも行っています。

昨年5月に開催した議会報告会は、「テーマ」を決め、感染防止対策のため、オンライン形式で開催することができました。そして、11月には会場参加とオンライン参加の同時開催で二つのテーマのほか、「事前質問への回答」という初の内容も含め開催しました。

町民の福祉の向上と持続的で豊かなまちづくりをめざして、町民の皆さんの意見をしっかりと拝聴しながら様々な課題に向き合い、政策提言につなげたいと思います。

今後も皆さんの声が届く町議会であるよう議員全員で取り組んでまいります。

結びに、皆さんのご健勝とご多幸をご祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。